



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4972 URL <https://www.sokenchem.com/jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 富田 幸二
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 IR・広報室長（氏名） 小林 弘昌（TEL） 03-3983-3268
 半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	24,330	26.4	3,792	127.0	3,631	104.3	2,804	104.0
2024年3月期中間期	19,254	△1.0	1,670	53.7	1,777	22.4	1,374	27.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 4,509百万円(124.9%) 2024年3月期中間期 2,004百万円(△23.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	338.55	—
2024年3月期中間期	166.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	55,210	36,480	66.1
2024年3月期	50,582	32,735	64.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 36,480百万円 2024年3月期 32,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期(予想)			—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	15.0	6,500	69.8	6,200	58.6	4,100	55.9	494.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	8,300,000株	2024年3月期	8,300,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	9,917株	2024年3月期	18,417株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	8,284,184株	2024年3月期中間期	8,271,091株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経済情勢は、総じて景気の緩やかな回復基調が続く一方で、中国の景気減速、主要国の物価動向や金融政策の動向、為替相場の変動、ウクライナ・中東情勢の長期化に伴う地政学リスクの高まりによる影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、液晶ディスプレイ関連の需要拡大が進む中国市場での競争力強化、シェア拡大に注力するとともに、自動車や情報・電子分野など成長期待分野での新規用途・顧客開拓を推進し、安定収益基盤の拡大と収益性の向上を図っております。また、非アクリル製品の開発・販売やバイオマス材料・製品開発の基盤技術構築、新たな海外事業地域の探索などを推進し、環境変化に強い事業構造への転換に向けた事業領域の創出に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、液晶ディスプレイ産業でテレビのオリンピック需要を見越した在庫積み増しの動きを背景に、中国市場における粘着剤製品の販売が伸長したことにくわえ、円安に伴う中国子会社業績の為替換算額が増加したことなどもあり、売上高は243億30百万円(前年同期比26.4%増)となりました。利益面につきましても、粘着剤製品の増販効果が大きく寄与し、営業利益は37億92百万円(前年同期比127.0%増)となり、経常利益は36億31百万円(前年同期比104.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は28億4百万円(前年同期比104.0%増)となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズの売上高は231億68百万円(前年同期比28.6%増)となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤製品は、中国市場での液晶ディスプレイ関連用途の販売数量が大幅に増加したことなどにより、売上高は165億48百万円(前年同期比25.6%増)となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散用途の販売数量が増加したことなどにより、売上高は15億95百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

特殊機能材製品は、中国市場での電子材料用途の需要が回復傾向にあるなか販売数量が増加したことにくわえ、採算是正の効果などもあり、売上高は15億52百万円(前年同期比38.7%増)となりました。

加工製品は、中国市場での機能性粘着テープの販売が自動車、情報・電子などの注力分野において増加したことなどにより、売上高は34億71百万円(前年同期比36.4%増)となりました。

<装置システム>

装置システムについては、熱媒体油の販売が増加したものの、設備関連の工事完成高が減少し、売上高は11億61百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末(以下「当期末」という。)の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」という。)に比べて46億28百万円増加し、552億10百万円となりました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末に比べ30億15百万円増加し、333億38百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ16億12百万円増加し、218億72百万円となりました。

一方、負債については電子記録債務が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことなどにより、前期末に比べ8億82百万円増加し、187億30百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末に比べ37億45百万円増加し、364億80百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末64.7%から1.4ポイント増加し66.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前期末に比べ13億61百万円増加し、144億37百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、27億47百万円となりました。

これは、主に税金等調整前中間純利益35億81百万円、減価償却費11億81百万円などによる増加と、法人税等の支払額7億86百万円、棚卸資産の増加3億79百万円、賞与引当金の減少3億63百万円などに伴う減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、10億54百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得7億60百万円などに伴う減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、7億26百万円となりました。

これは、主に短期借入金の借入れ4億81百万円などによる増加と、配当金の支払額7億83百万円、長期借入金の返済5億2百万円などに伴う減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,576,546	7,937,890
受取手形、売掛金及び契約資産	9,399,668	9,916,433
電子記録債権	2,299,885	2,561,007
有価証券	5,500,000	6,500,000
商品及び製品	3,814,867	4,060,509
仕掛品	62,537	152,230
原材料及び貯蔵品	1,436,310	1,823,908
その他	253,698	410,090
貸倒引当金	△21,311	△23,911
流動資産合計	30,322,202	33,338,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,437,180	19,800,380
減価償却累計額	△10,533,756	△11,240,517
建物及び構築物(純額)	7,903,424	8,559,863
機械装置及び運搬具	23,755,964	26,746,958
減価償却累計額	△17,835,417	△18,998,779
機械装置及び運搬具(純額)	5,920,546	7,748,178
土地	1,454,558	1,471,087
使用権資産	808,987	925,005
減価償却累計額	△231,233	△277,219
使用権資産(純額)	577,754	647,785
建設仮勘定	1,745,529	369,841
その他	4,129,525	4,433,705
減価償却累計額	△2,937,588	△3,170,403
その他(純額)	1,191,937	1,263,301
有形固定資産合計	18,793,751	20,060,057
無形固定資産		
その他	328,049	578,120
無形固定資産合計	328,049	578,120
投資その他の資産		
投資有価証券	63,228	58,688
繰延税金資産	1,056,491	1,072,378
その他	148,954	228,301
貸倒引当金	△129,930	△124,950
投資その他の資産合計	1,138,744	1,234,418
固定資産合計	20,260,545	21,872,595
資産合計	50,582,748	55,210,754

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,003,191	7,892,921
電子記録債務	1,078,820	425,439
短期借入金	1,093,618	1,717,360
1年内返済予定の長期借入金	806,529	1,208,620
未払法人税等	431,347	477,378
賞与引当金	730,048	366,623
役員賞与引当金	19,500	37,500
完成工事補償引当金	2,000	6,100
工事損失引当金	3,040	8,054
その他	2,737,957	2,923,659
流動負債合計	13,906,054	15,063,657
固定負債		
長期借入金	2,366,255	2,073,506
退職給付に係る負債	1,479,864	1,483,176
資産除去債務	46,846	46,895
その他	48,345	62,875
固定負債合計	3,941,311	3,666,454
負債合計	17,847,366	18,730,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,422,850	3,435,340
利益剰余金	22,442,246	24,460,145
自己株式	△22,129	△11,916
株主資本合計	29,204,530	31,245,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,551	27,202
為替換算調整勘定	3,292,856	5,002,213
退職給付に係る調整累計額	209,443	206,093
その他の包括利益累計額合計	3,530,851	5,235,509
純資産合計	32,735,381	36,480,642
負債純資産合計	50,582,748	55,210,754

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	19,254,625	24,330,034
売上原価	13,396,508	16,021,658
売上総利益	5,858,117	8,308,375
販売費及び一般管理費	4,187,189	4,515,730
営業利益	1,670,928	3,792,644
営業外収益		
受取利息及び配当金	27,882	44,842
為替差益	157,756	—
補助金収入	14,049	4,202
雑収入	30,671	39,312
営業外収益合計	230,359	88,357
営業外費用		
支払利息	72,149	60,758
為替差損	—	132,956
支払手数料	41,345	48,035
雑損失	10,561	8,186
営業外費用合計	124,056	249,936
経常利益	1,777,231	3,631,064
特別利益		
固定資産売却益	176	—
特別利益合計	176	—
特別損失		
固定資産除売却損	14,856	35,974
投資有価証券評価損	—	2,595
システム障害対応費用	—	11,455
特別損失合計	14,856	50,025
税金等調整前中間純利益	1,762,551	3,581,039
法人税等	387,818	776,390
中間純利益	1,374,732	2,804,649
親会社株主に帰属する中間純利益	1,374,732	2,804,649

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,374,732	2,804,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,717	△1,348
為替換算調整勘定	616,776	1,709,357
退職給付に係る調整額	1,521	△3,350
その他の包括利益合計	630,016	1,704,658
中間包括利益	2,004,749	4,509,307
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,004,749	4,509,307

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,762,551	3,581,039
減価償却費	1,082,401	1,181,503
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,920	△4,980
賞与引当金の増減額(△は減少)	△128,008	△363,425
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33,677	△1,426
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△300	4,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,500	18,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1,599	5,013
受取利息及び受取配当金	△27,882	△44,842
支払利息	72,149	60,758
為替差損益(△は益)	△38,104	69,028
補助金収入	△14,049	△4,202
固定資産除売却損益(△は益)	14,680	35,974
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,595
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△399,202	△182,503
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,005	△71,102
棚卸資産の増減額(△は増加)	440,269	△379,389
未払消費税等の増減額(△は減少)	237,624	133,264
その他	547,029	△505,362
小計	3,423,296	3,534,043
利息及び配当金の受取額	23,454	44,848
補助金の受取額	14,049	4,202
利息の支払額	△73,476	△49,044
法人税等の支払額	△422,085	△786,806
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,965,238	2,747,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,225,367	△760,418
有形固定資産の売却による収入	176	782
無形固定資産の取得による支出	△104,293	△295,102
その他	2,152	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,327,332	△1,054,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△82,933	481,133
長期借入れによる収入	222,535	88,159
長期借入金の返済による支出	△249,499	△502,875
配当金の支払額	△700,955	△783,605
その他	△7,379	△8,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△818,232	△726,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	203,605	394,751
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,023,278	1,361,344
現金及び現金同等物の期首残高	10,013,538	13,076,546
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,036,816	14,437,890

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,011,142	1,243,483	19,254,625	—	19,254,625
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34,204	14,360	48,564	△48,564	—
計	18,045,346	1,257,843	19,303,190	△48,564	19,254,625
セグメント利益	1,650,591	16,474	1,667,066	3,861	1,670,928

(注)1. セグメント利益の調整額3,861千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,168,171	1,161,862	24,330,034	—	24,330,034
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,554	99	36,654	△36,654	—
計	23,204,726	1,161,962	24,366,688	△36,654	24,330,034
セグメント利益又は損失(△)	3,864,014	△80,323	3,783,691	8,953	3,792,644

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額8,953千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。